



Newsletter

- 発行：日本農業市場学会事務局
〒036-8561 弘前市文京町3
弘前大学農学生命科学部
国際食品マーケティング学分野 気付
TEL/FAX：0172-39-3622（研究室直通）
E-mail：tnarita@hirosaki-u.ac.jp

日本農業市場学会

Contents

- 2020年度大会案内（第2報）
- 2020年度大会個別報告・セッションの募集について

2020年度大会案内（第2報）

2020年度大会は、北海道大学農学部にて、以下の日程・内容で開催します。

◆ 日程

- 2020年7月3日（金）：各種委員会（15:00～16:30）、理事会（16:30～）
- 7月4日（土）：シンポジウム、総会、懇親会
- 7月5日（日）：個別報告、セッション

◆ シンポジウム概要（予定）

日時：7月4日（土）9:00～17:00

会場：北海道大学

テーマ：物流危機と農産物・食品流通の転換（仮）

座長：木立真直（中央大学） 杉村泰彦（琉球大学）

報告者および報告テーマ：

第1報告 矢野裕児氏（流通経済大学）

「日本における物流危機の現状と食品物流をめぐる諸課題」

第2報告 佐藤和憲氏（東京農業大学）

「産地における農産物の加工・保管・出荷対応の現状と課題」（仮）

第3報告 種市豊氏（山口大学）

「過疎地・農山村における農産物・食品の配送対応の現状」（仮）

第4報告 丸谷智保氏（㈱セコマ会長、最終調整中）

「北海道における食ビジネスと物流戦略」（仮）

コメンテーター：小林茂典氏（石川県立大学）、冬木勝仁氏（東北大学）

2020 年度大会個別報告・セッションの募集について

以下のとおり、会員のみなさまからセッション、個別報告を募集いたします。希望される方は期日までに必要事項を企画委員会事務局（後掲）までご連絡ください。

◆ 個別報告・セッションの申し込み（エントリー）

○締切 2020 年 5 月 8 日（金） ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 個別報告へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 報告者氏名および所属
- ② 報告タイトル
- ③ スライド（PDF ファイルのみ可）使用の有無

◇ セッションへ申し込む際の必要連絡事項

- ① 座長（コーディネーター）の氏名・所属
- ② 全体テーマと趣旨（個別報告要旨と同様の様式）
- ③ セッション内で行う報告のタイトル、報告者氏名・所属、コメンテーターをつける場合にはその氏名・所属
- ④ スライド（PDF ファイルのみ可）使用の有無

※セッション形式について

- ・セッションは共通テーマの下で座長を立て、2～4 報告を行い、総合討論するものです。コメンテーターをつけることも出来ます。
- ・セッションでの報告は個別報告の一部として取り扱い、個別報告の時間帯に組み込んで行います。セッション内のすべての報告の終了後、1 報告分の時間で総合討論を行います（コメントを含む）。また、セッション内の報告についても、報告論文として投稿することができます。
- ・座長、報告者ともに本学会の会員である必要があります。

◆ 個別報告・セッションの報告要旨の提出

○締切 2020 年 5 月 29 日（金） ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 提出書類

学会ホームページの「個別報告要旨（様式）」に従って作成してください。

※学会ホームページのアドレス：<http://amsj.jp/>

※用紙：A4 版横書き用紙 1 枚以内（1,000 字程度）

※内容：報告タイトル（ゴシック体 10.5 ポイント太字、中央寄せ）

報告者氏名（明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

所属（（ ）内に明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

報告要旨本文（明朝体 10.5 ポイント）

※提出方法：MS-Word 形式のファイルを E-mail 添付で提出してください。

◆ 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告時間は、1 報告 20 分、質疑 10 分を予定していますが、報告者の数によっては変更することもあります。あらかじめご承知おきください。
- ・会費を滞納している会員は、個別報告やセッションに申し込むことができません。また、報告の代表者だけでなく、連名で報告される会員すべてについて、会費を納入していることが条件となります。
- ・大会後に報告論文の投稿を検討されている方は、以下の点に特にご留意ください。投稿規程（2015 年 12 月改正）によれば、報告論文のタイトルおよび執筆者（順）は、原則として個別報告等（要旨集掲載）のタイトルおよび報告者（順）とすることになっていますので、よろしくお願ひします。
- ・個別報告・セッションの領域が本学会の目的（会則第 2 条「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」）にふさわしくないと判断される場合は、セッションあるいは個別報告をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。
- ・メールで報告申し込み（5 月 8 日締切）を行なう際は、メールタイトルを必ず「氏名（日本名および外国名の方で漢字やカナ表記を希望される場合は日本字で、その他の外国名の方はアルファベット）：市場学会個別報告申し込み」として下さい（例「豊智行：市場学会個別報告申し込み」）。セッション申し込みの場合は、「氏名：市場学会セッション申し込み」として下さい。
また報告要旨提出（5 月 29 日締切）を行なう際は、メールタイトルを「氏名：市場学会個別報告要旨」と記して下さい（例「豊智行：市場学会個別報告要旨」）。セッションの場合は「氏名・市場学会セッション報告要旨」として下さい。
メールタイトルが以上ようになっていない場合、受け付け漏れが生じる危険がありますが、その責任は企画委員会事務局では負いかねます。
- ・報告要旨は、上記の学会ホームページにある様式に厳密に従って作成して下さい。それ以外のもは受け付けができない、したがって個別報告ができないことがあります。
- ・個別報告の時間帯、場所、順序、会場などの決定は、全てを企画委員会事務局にご一任下さい。

○申込先（問い合わせ先）：企画委員会事務局

日本農業市場学会企画委員会事務局 豊 智行 (YUTAKA, Tomoyuki)

申込先

E-mail: yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp
--

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-24 鹿児島大学農学部 食料農業経済学コース 農業市場学分野
TEL：099-285-8627（直通）

2020年4月13日

日本農業市場学会 会員各位

日本農業市場学会 会長 木立真直
2020年度大会実行委員長 坂爪浩史
日本農業市場学会庶務担当 成田拓未

2020年度大会の開催見通しについてのご報告

4月に入り新型コロナウイルス感染者の増加と、国の緊急事態宣言、そして複数の自治体の自粛要請を受けて、様々なイベントの自粛や延期、中止が発表されています。会員の皆様におかれましては、7月3日から5日にかけて北海道大学で開催予定の本学会2020年度大会の実施についてご心配されていることと存じます。大会情報を含むNews Letter No. 77をお届けするにあたり、学会としての現時点での対応について会員の皆様にお伝えする必要があると判断いたしました。

かつてない新型ウイルスの脅威や政府や各機関の対応が3か月後にどのようなかを予測することは不可能であり、現時点では、本学会としては、開催校と密接に連携を取りながら、予定通りの開催に向けて準備を進めています。

学会にとって全国大会は、学会誌と共に、会員諸氏が取り組まれてきた研究成果を発表し、その知見を共有する場として、きわめて重要なものであります。かりに、全国大会を中止することとなれば、それは本学会、さらには日本における学術研究にとって多大の損失になります。また、すでに開催校では大会運営の準備が順調に整いつつあり、シンポジウムのご報告者の方々には当日に向けた準備を進めていただいています。個別報告の申し込みを予定されている会員においても事情は同様かと推察します。こうした点から、本学会としては、可能な限り実施に向けた準備と努力を続けていきたいと考えています。

もちろんコロナをめぐる国内外の状況の推移次第では、最終的に中止や延期といった決断をせざるを得ない可能性も否定できません。また、開催する場合にも通常とは異なるかたちでの開催とすることも考えられます。今後とも、新型コロナの推移とそれへの政府や自治体、各大学・研究期間の対応について情報収集に努め、それを踏まえた対応を慎重に検討し、何らかの変更が生じた場合には速やかに会員の皆様に情報発信いたします。

引き続き、会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

以上